

第61回東北地区高等専門学校体育大会 柔道競技 競技要項

1. 主 催 東北地区高等専門学校体育連盟
2. 競技開催校 一関工業高等専門学校
3. 後 援 一関市、一般社団法人一関市体育協会、岩手県柔道連盟、一関柔道協会
4. 大会期日 令和6年6月28日（金）～6月30日（日）
5. 競技日程 令和6年6月29日（土）～6月30日（日）
6. 大会会場 一関武道館（岩手県一関市三関桜町50-4）
7. 競技人員
 - (1) 団体戦
1校1チーム、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内（試合出場5名）
 - (2) 個人戦
【男子】1校8名以内（各階級2名以内）
【女子】1校9名以内（各階級3名以内）
8. 競技規則
 - (1) 「国際柔道連盟試合審判規定」による。
 - (2) 「優勢勝ち」の判定基準は、次のとおりとする。
 - [ア] 団体戦においては、「技あり」又は「僅差」以上とする。
団体戦での「僅差」は、「指導差2」以上とし、「技の内容」と「僅差」の重みを次の項目順とする。〔一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞僅差〕
 - [イ] 団体戦の代表戦及び個人戦においては、「技あり」又は「僅差」以上とし、得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式で勝敗を決する。
 - (3) 試合時間は団体戦、個人戦とも3分とする。
 - (4) 関節技において、その効果があると認めたとき、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。但し、絞め技においては、見込みによる判定を行わない。
 - (5) 団体戦の代表戦及び個人戦において、両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、ゴールデンスコア方式で勝敗を決する。
9. 競技方法
 - (1) 団体戦
 - [ア] 7チームのリーグ戦とする。
 - [イ] 5名による勝点法で行う。
 - [ウ] リーグ戦内のチームの勝敗決定は、勝本数の多いチームを勝ちとする。
勝本数が同数の場合は、勝内容による。勝内容は、1本勝ち、反則勝ち10点、技ありによる優勢勝ち7点、僅差による優勢勝ち3点、引き分け0点（反則、不戦、棄権、失格、負傷による勝ちとは10点とする。）とし、その合計点が同点の場合は、引き分けとする。
 - [エ] リーグ戦の順位の判定は、勝ち数の多いチームを上位とする。
勝ち数が同数の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
勝ち負け同数の場合は、勝ち本数合計の多いチームを上位とする。
勝ち本数合計が同数の場合は、勝ち内容により合計点で決定する。
それでも順位が決しない場合は、代表戦を1回行い、「技あり」又は「僅差」以上とし、得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い勝敗を決する。
 - [オ] オーダーの提出は、試合開始5分前までとし、選手7名以内より5名を選出する。
なお、オーダーは試合ごとに組替えしてもよい。所定の時間内にオーダーの提出がない場合は、前試合と同じオーダーで試合しなければならない。

(2) 個人戦

[ア] トーナメント戦とする。

補欠決定戦を行い、3位は2名とする。

[イ] 階級別次のように分ける。

【男子】

① 66 kg級

② 73 kg級

③ 81 kg級

④ 無差別級

【女子】

① 52 kg級

② 57 kg級

③ 63 kg級

④ 無差別級

ただし、1階級上には出場することができるものとする。

[ウ] 計量

男女とも、令和6年6月28日(金)(午後1時30分～午後2時30分)

[代表者会議前])に競技会場で行う。規定の時間内に計量を受けなかった者及び合格しなかった者は失格とする。

また、計量の結果は代表者会議の席上で報告されるものとする。

10. 参加申込 (1) 申込期限 令和6年5月31日(金)【必着とする】
(2) 申込先 〒021-8511 岩手県一関市萩荘字高梨
一関工業高等専門学校学生課内
東北地区高等専門学校体育大会
柔道競技実行委員会事務局
TEL : 0191-24-4718 FAX : 0191-24-4530
11. 組合せ抽選 (1) 団体戦
競技実行委員会において、令和6年6月7日(金)に競技開催校の体育主任及び学生課の立会いで、競技開催校の学生が抽選を行う。
(2) 個人戦
代表者会議において抽選を行う。その際、前年度の大会で1位と2位の者はシードをする。
12. 代表者会議 (1) 日 時 令和6年6月28日(金) 15:00～
(2) 会 場 一関武道館 会議室
13. 開閉会式 (1) 開 会 式 令和6年6月29日(土) 9:30～
(2) 閉 会 式 競技終了後
14. そ の 他 選手は、上衣の背部に、(公財)全日本柔道連盟規定のゼッケンをつけること。